事例No.	198
公表年度	H29
団体の属性	一般市
団体名	大分県宇佐市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・歳入確保 ・公共施設活用

事例種類	その他

事例内容・タイトル

下水道加入促進キャンペーン（収入増加（資産活用））

出典

経営戦略策定ガイドライン（下水道事業・先進的取組事例集）

7. その他 （収入増加の取組(資産活用)）

事例31

○ 事例名等

事例名	下水道加入促進キャンペーン
団体名	大分県 宇佐市
事業名	公共下水道事業

○ 人口・面積・密度

規模データ	人口 人	面積 ha	密度 人/ha
行政区域内	58,410	43,905	1.3
処理区域内	13,982	473	29.6

1. 背景等

①取組みの背景（きっかけ）

公共用水域の環境を保全するため、下水道処理区域内の未接続者に対し、期間限定で下水道に加入しやすい環境を提供し、水洗化率の向上、長期的に考えれば使用料の増収を図るため。未接続世帯（1,000世帯）を対象にアンケート調査を実施した結果、新たな費用負担などに対する抵抗感があることが分かった。 この結果を基に補助制度に限らず何らかの費用負担を軽減し、未接続者の方が加入しやすい環境整備に向けて検討した。

2. 内容、効果額等

○内容： 下水道使用料金を1年間減免（無料）とする。

○期間： 平成25年4月15日～平成26年3月31日（第1弾）
平成26年9月10日～平成27年3月31日（第2弾）

○対象： 既処理区内の未接続者を対象とし、期間中にリフォームなどによる増改築で排水設備工事を完了し、下水道に未接続の既設住宅を新規接続した方。
（新築・特定事業所は対象外）

○条件： 下水道の受益者負担金が完納されていること。市税に滞納のないこと。

○効果： 前年度と比較して2.5倍（18件増）の接続実績（第1弾）

収入試算：年間下水道使用料　月3,400円×12ヶ月≒40,000円（標準家庭3人）

・通常の実績（キャンペーンをしない場合、前年度実績）
40,000円×33件＝1,320千円/年
・実施年度（キャンペーンをした場合）
40,000円×55件＝2,200千円/年

収入的には単年度でみれば減収となるが、経常的な収入でみると将来4年目で累計減収額が解消される。

3. 検討過程等

スケジュール等

平成25年3月上旬	実施に向け庁内調整、決裁
平成25年3月下旬	広報紙、ホームページ等にて市民にお知らせ 定例記者会見にて説明⇒新聞掲載
平成26年7月	第1弾の検証結果を踏まえ、短期間（約半年）にて第2弾実施への取組み

4. 今後の課題・考慮すべき点

排水設備工事施工業者とも連携を取り、周知・促進していただく。
下水道整備により供用開始となった対象地域の方への早い段階での加入を図ることで新規の未接続者をつくらない施策が必要。